2021 年 4 月 25 日発行のリサイクル通信に当社の決算概況が取り上げられました。

2021年（令和3年）
4月25日
No.510
毎月2回10日/25日発行

リサイクル通信
The Reuse Business Journal

発行所：㈱リフォーム産業新聞社
亀岡大郎取材班グループ
本社：〒104-0061
東京都中央区銀座8-11-1
TEL:03(6252)3451 FAX:03(6252)3461
発行人：加覧光次郎
暮らしをよくする、専門メディア

今号の注目記事

【新連載】中古レコードの世界 3
▲レンタルショーケース専門の「アストップ」 7
コロナで変わったブランドオークション開催方式・手数料を徹底調査 10・11
エーツー、ラジコンの「京商」どう再起？ 20

9 INTERVIEW
ecoeat
（日本もったいない食品センター）
高津 博司 代表理事

上場リユース企業2月期決算

コロナ禍も底堅い業績

不振の衣料を他商材が補う

上場リユース企業の2021年2月期の決算が出揃った。新型コロナの影響が追い風になった商材もある一方で、衣料品など苦戦を強いられた商材もある。ただ、総じてリユース企業で売上高が大幅な減収となる企業はなく各社堅調で、底堅さが伺える。

リユース業界大手のトレジャー・ファクトリー（東京都千代田区）の2021年2月期の売上高は前期比2・0％減の187・4億円となった。昨年4月、5月の緊急事態宣言により、一時的に売上高が減少。1Q（3―5月）の売上高は前年同期比16・6％減となったが、その後は衣料品の販売も復調。在宅やテレワーク関連の需要で、家具や家電、ホビー用品は年間を通じて好調だった。前期の先行投資も踏まえ、今期の売上高は20・8％増の226・4億円を見込む。

緊急事態宣言による巣ごもりが追い風となり特需の恩恵を受けたのがテイツー（岡山県岡山市）だ。非連結の売上高は前期比11・9％増の240・1億円となった。「特に中古も含めゲームの特需要因は大きい。ただ、利益面では粗利率改善や販管費の抑制に努めた点が寄与した」（青野友弘取締役管理部長）。

同社は、昨年に中古品のECを強みに持つ山徳を傘下に収めた。今期は通期で連結業績に寄与するものの、特需減少の影響を見込み今期の連結売上高は前期比3・0％減の242億円としている。

ハードオフ、ブックオフ等の店舗を中四国、九州で運営するありがとうサービス（愛媛県今治市）のリユース事業売上高は前期比2・0％増の60・4億円となった。新型コロナの影響で一時休業や時短営業等を行ったが、4店舗の新規出店に加え、ネット販売の拡大を図り増収となった。

中部圏が地盤の買取王国（愛知県名古屋市）の売上高は横ばいの48・9億円となった。主力のファッションが不振な一方でゲーム等のメディアが好調に推移。近年力を入れている工具は前期比45・1％増と大きく伸び、他商材の不振を補

上場リユース企業2月期決算の概況

企業名	売上高（億円）	前期比	営業利益（億円）	前期比
トレジャー・ファクトリー	187.4	-2.0%	1.06	-88.6%
	衣料・ブランド不振、家具・家電は堅調			
テイツー	240.1	11.9%	7.86	202.1%
	巣ごもりでゲーム特需			
ありがとうサービス	60.4	2.0%	6.89	3.7%
	一部店舗で休業や時短営業もネット販売を拡大			
買取王国	48.9	0.0%	1.26	15.7%
	衣料不振も工具・メディアが好調			

＊テイツーは非連結の業績、ありがとうサービスはリユース事業の値